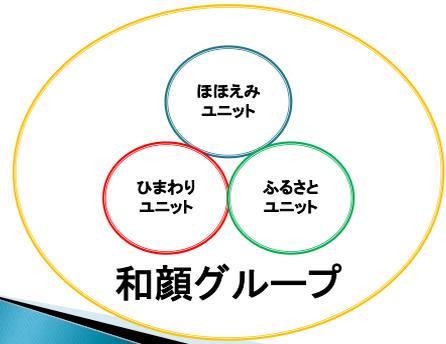


和顔Gの取り組み ～連携と振り返り～

特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
くらし事業部 くらし係
和顔G ふるさとユニット 鈴木 悠司

和顔Gとは・・・



各ユニットの紹介

	ほほえみ ユニット	ひまわり ユニット	ふるさと ユニット
	従来型	ユニット型	シュートステイ
お客様の 人数	12名 (全員、女性)	10名 (全員、女性)	8床
居室	2人部屋	個室	個室 全室トイレ付
特色	唯一の 多床室 ユニットに浴槽	認知症専門 ユニット	シュートステイ 6床 相互利用 2床

▶ 多床室・個室・シュートステイ
それぞれ違う形のユニットが集まったGですが

「お客様の生活」

▶ ユニットの個性を大切に

各ユニットの取り組み状況

▶ ひまわりユニット

○ 定期的な認知症の勉強会

▶ ほほえみ・ふるさとユニット

○ 20名のお客様をユニット職員全員で関わられるように

を行っております

①「入院しない身体づくり」

→ 水分1500ml

②「その人らしい生活」

→ 布パンツ

③「基本に戻る」

→ ○確認の方法の見直し

ほほえみユニット

平均介護度	平均年齢	平均在園期間
3.6	86歳	2.5年 最長:8年

- ▶ リビングにて好きな空間で
- ▶ 銭湯の様な雰囲気でお話しをされながら、
一緒に入浴



①

4月	5月	6月	7月	8月
1467ml	1442ml	1406ml	1485ml	1468ml
9月	10月	11月	12月	1月
1469ml	1406ml	1513ml	1593ml	1556ml

○入退園者数

4月	5月	6月	7月	8月
1名 (在宅復帰)	1名 (退園) (感染症対策)	1名 (入院)	1名 (居室移動)	2名 (退園) (入院)
9月	10月	11月	12月	1月
0名	1名 (退園) (感染症対策)	1名 (転院)	0名	0名

○1月の感染症対策:熱発者0名

取り組みの成果を実感

▶ ②布パンツ

○1月より実施 12名中11名が布パンツへ
(1名のお客様は骨ガード使用の為、紙パンツ)

○「もれないの?」「本当に大丈夫?」
実際に行うまでは色々な心配がありました...

→行なってみると、もれる事や皮膚トラブル無く、
取り組む事が出来ました

▶ 委員会からの課題があっても

取り組めていない



▶ 委員メンバーが課題を理解して、

ユニットに申し送りを行なう



▶ お客様の自立支援につなげていく

ひまわりユニット

平均介護度	平均年齢	平均在園期間
3.6	87歳	2.8年 最長:4年

- ▶ 居室のしつらえを大切に
- ▶ 言葉使いに気を付け、穏やかに過ごして頂く



▶ ①水分

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1383ml	1475ml	1540ml	1550ml	1615ml	1609ml
10月	11月	12月	1月	2月	
1608ml	1631ml	1618ml	1565ml	1591ml	

▶ 6月より、継続して達成

○今年度、入院・退園されるお客様は

おりませんでした

○唯一、入退園者が出なかったユニットです

▶ ②布パンツ

○12月より実施 10名中10名が達成

○「お客様の利益になるのか？」等と声が・・・
→現在、全員がトイレに行かれております

▶ 認知症の勉強会

○毎月のユニット会議の時に実施

→新人職員・ユニット職員の
勉強の場になっております

▶ 水分の達成・ユニット体操の実施



▶ 排便薬の使用が多い(2月:10名中7名が使用)
※多い方で週2回の坐薬の使用



▶ お客様1人1人に合った水分量の把握
歩く事や散歩、マッサージの実施



▶ まず、行なってみてからの
「評価と振り返り」

ふるさとユニット

平均介護度	平均年齢	登録者数	ひと月利用者数
2	86歳	39名 <small>※3月15日時点</small>	26~28名 <small>※稼働率:112%</small>

- ▶ 家での生活を考え、出来る事はご自分で
- ▶ 出来ない事を支える



▶ ③基本に戻る

▶ 荷物確認について

○職員1名→職員2名に変更
→「忘れ物」のヒヤリの件数は前年度と変わらず

※2名の職員がいる事で
→安心感から

「見落とさない」

意識が薄れていた

▶ 居室確認について

○12月から、お客様と一緒に職員2名で確認
→12月から居室内での「忘れ物」のヒヤリは0件

※ユニット預かりの薬の「忘れ物」がありました
今後、意識して最終確認を行なっていく

▶ 来年度から、複合型サービスへ



▶ DS・SS・もみじ・訪問、協力しながら行える様に



▶ 1人1人が複合型サービスの仕事内容を
把握出来る様に

連携について

- ▶ 4月～8月 ふるさと職員→ほほえみの手伝い
- ▶ 9月 日勤職員が中番まで、残業
- ▶ 10月～11月 ひまわりの中番職員が2ユニット行なってみました…



との話しが各ユニット職員からあり、
中番の兼務業務を中止…

- ▶ 12月～2月 日勤職員が中番まで残業、再開

- ▶ 他のグループは2ユニットを1名の中番職員で行なっている現状
- +
- ▶ 4月からの働き方改革（職員に負担を…）
- ↓
- ▶ 今の現状のままではダメではないか
- ↓
- ▶ 再度、中番兼務を行なってみる
まえに…

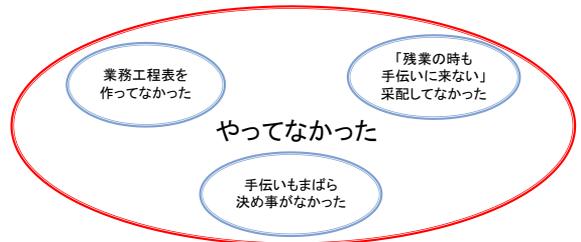
失敗してしまった振り返りをしよう

- 動き方は中番兼務の職員に任せていた
- 業務工程表の作成を行なっていなかった

まずは…

- * 4月、職員の異動があっても働ける様に
業務工程表の作成を

- ▶ ひまわり・ほほえみ、各ユニット会議にて職員が
必要な時間帯の検討
- ↓
- ▶ 出した時間帯を組み合わせ、業務工程表の作成
- ↓
- ▶ 現在、実際に業務工程表を基準に動いています
- ↓
- ▶ 振り返りを行ないながら、業務工程表の修正
- 3月中に業務工程表を完成させ、
申し送りを行なう



「連携が出来ず」・「残業が増え」・「職員に負担を」

- ▶ 業務工程表の完成、申し送りを

年間の振り返り(自分)

- ▶ 今年度、実践した事として・・・
 - 荷物確認を職員1名→2名に変更
 - 居室チェック表の作成・実施
 - 中番兼務の業務工程表の作成
 - 2対1の入浴介助

等

- ▶ 今年度から、リーダーに
↓
 - ▶ 自覚や目標がなく「たぶん、何とかなるだろう」
↓
 - ▶ 準備等も行わず、見切り発車でSSへ

「甘い考え」



- ▶ 自分1人で仕事を行っていました

- ▶ 計画書の作成+委員会の仕事
 - 学習療法委員会→「家族交流会」「一斉支援」
- ▶ 1人で全てをこなす事が困難に・・・

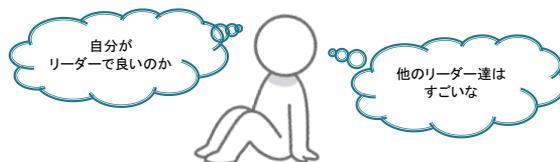
- ▶ Gの各ユニットの状況・お客様の状態・職員の事



- ▶ 「リーダーなんだから、しっかりしなさい！」
- ▶ 「わからない」「知らない」→許されない立場



- ▶ リーダーという立場を甘く考えていた自分



と、考える事が多々ありました

▶ 計画書の作成等、ユニット職員が先に行なって
くれる様に

▶ ほほえみユニットの水分・布パンツの
取り組みが達成

- 自分1人で行なえる事の少なさ
- 周りの職員に頼る事の大切さ

を学びました



と、考えられる様になりました

▶ リーダーとしての立場

▶ 自分1人で出来る事の少なさ

▶ 伝える事、職員とのコミュニケーションの難しさ
等々を教えて頂き、

たくさんの事を学ばせて頂いた
1年間でした

次年度にむけて

▶ ひとと関わる事が苦手

- 園の方向性を伝える事
- 職員の想い、考えを伝える事

※自分から
「声をかける」・「話をする」・「褒める」
職員の事をしっかりと見て、行なっていきたい



ご清聴ありがとうございました